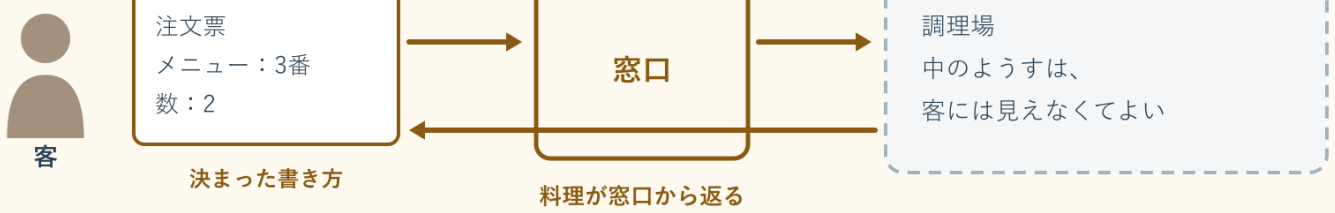
サービスどうしをつなぐしくみ（API）

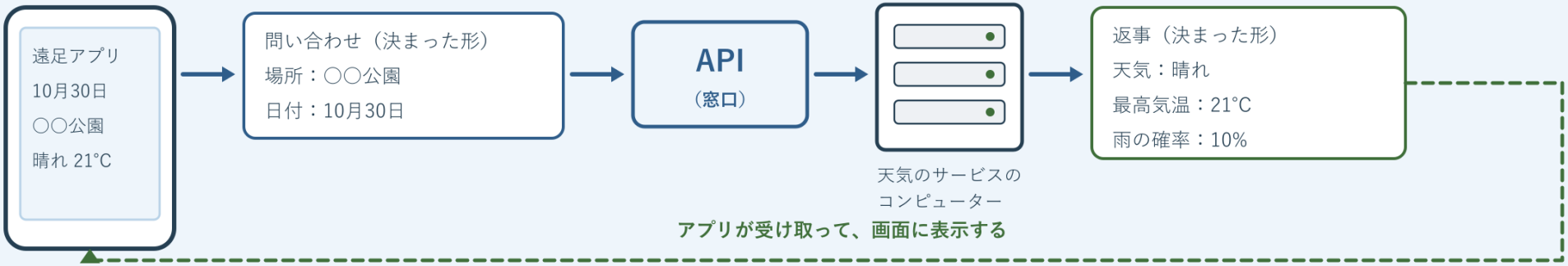
アプリは、天気や地図などのほかのサービスのデータを、どのように使っているのだろう

たとえ：レストランの注文窓口



決まった書き方で頼めば、
中のしくみを知らなくても、
決まった形で返ってくる。

実際の例（架空）：遠足のアプリが、天気のサービスの API を使う



1 決まった形でやりとりする

頼み方と返事の形が、
約束で決まっている

2 つくる手間が減る

天気や地図のしくみを自分で
つくらなくても使える

3 約束と限りがある

使う登録や回数の上限がある。相手の
サービスが止まると使えなくなる

※ 模式図。アプリ・サービス・数値は架空。生成AIの機能を API で組み込んだアプリもある。